

秋以降のイベントの告知

兵庫大学留学生対象の「ホームビジット制度」受け入れファミリー募集

兵庫大学に在学している留学生の日本での生活をサポートしたり交流を行うホストを募集しています。週末や何かイベント事を一緒に楽しんだり、母国のことを教えてもらったり、長く交流のもてる関係を築ければと考えています。ご興味のある方、お問い合わせ下さい。

短期英会話教室(15回コース)

英会話講座4ヶ月コースを開催します!!
3回目の今年度内容がスターターレベルからレベル1にアップします。英語力向上のため奮ってご応募ください。授業はすべて英語で進めます。
と き：令和5年12月3日～令和6年3月24日
※12月23日、30日はお休みになります
毎週日曜10時～11時30分
ところ：いきがい創造センターワーキングスペース(役場本館北側)
※都合により場所が変更になることがあります。
講 師：ロバート・ダン(カナダ出身)
受講料：一般 10,000円 会員 9,000円
※一般の方は1,000円を次年度の協会会員入金金へ充当させていただきます。
教科書：3,000円「Smart Choice Level1 4th edition」
ISBN：978-0-19-406-0998
募集定員：12名(初めての方優先)
申し込み期間：11月6日(月)～11月22日(木)

外国料理教室

中国家庭料理教室
と き：2024年2月4日9時～12時30分頃
ところ：にじいろふぁーみん調理室
内 容：○白菜炒肉
(白菜と豚肉の炒め物)
○涼菜
(サツマイモ入り春雨と野菜の和え物)
○土豆餅
(じゃやがいもと玉ねぎのおやき)
○豆腐湯
(豆腐のスープ)
講 評：方淑珍さん(内モンゴル自治区出身)
定 員：20名
参加費：500円(非会員の方は恐縮ですが1,000円を次年度会費としてお納め下さい。)
申し込み期間：11月6日(月)より定員になり次第締め切ります。

募集

稲美町国際交流協会では

①外国人に日常会話レベルの日本語を指導してくれるボランティアさん

②イベント準備・引率・実働を行ってくれるボランティアさんを募集しております。

ボランティア活動を通して異文化理解や様々な国、年代の方との交流をしてみませんか？
興味のある方は是非稲美町国際交流協会事務局までご一報をお願いします!!

編集後記

恒例の留学生の感想文はいかがでしたか？三泊四日という短い期間ではありましたが、思いのこもった文章を読ませていただく時、やって良かったなと改めてこの事業の大切さを感じます。留学生とホストファミリーの皆様との出会いのお手伝いができることを嬉しく思っています。ご協力頂いた皆様には厚く御礼申し上げます。
今年度後半のイベントにも多数ご参加下さい。

【わーるどクイズ⑤の答え】①カリマンタン島のヌサンタラ

インドネシア政府はジャカルタが人口の過密化で交通渋滞や大気汚染などが深刻な課題となっているため、独立記念日にあたる来年の8月17日から、およそ2000キロ離れたカリマンタン島の東部への首都の移転を順次始める予定です。

令和5年度 団体・法人会員 (順不同)

赤松機器工業(株)

(株)アシス

かうらい屋

イナミスポーツ

(株)稲美乳販

(有)田中縫工所

インド・ネパールダイニング・ヴィレッジ

ヤマデン(株)

いなみマイマイ工房

但陽信用金庫稲美支店

木下製罐(株)

播磨フードサービス(株)

植田住地(株)

木村建設工業(株)

兵庫南農協 天満支店

榊本建築設計事務所

NOBBY FARM

キング醸造(株)

医療社団法人奉志会

社会福祉法人日の出福祉会

広田鉄工(株)

三美塗装工業(株)

印南養鶏農業協同組合

クラウン商事(株)

デリカフーズ株式会社

英建設(有)

沼田建具店

(株)はた石材

稲美町シニアクラブ連合会

古谷産業(株)(FIT:s)

兵庫大学

ワタキューセイモア株式会社

タイヤの岡田(岡田トレーディング)

株式会社麦わら(山のパン屋Daddys Bakery)

国際交流通信

わーるど

年2回
6月・11月
発行

第62号

2023. 11. 1

ふれあい交流「いなみ野の里」ホームステイ事業2023



どびきりの暑い夏に9ヶ国10人の大阪大学留学生が稲美町でホームステイしました。

1日目 8月11日 歓迎会

ドキドキ、ワクワク！ いよいよホストファミリーと対面です。

稲美野万葉太鼓会の皆様の演奏と共に入場した留学生は、ホストファミリーからキャンディレイで迎えられ、その後、留学生による母国わーるどクイズで楽しみました。



わーるどクイズ⑤：インドネシアの首都が2024年夏に移転する予定です。さてそれは何島の何とう都市でしょうか？

①カリマンタン島のヌサンタラ ②ジャワ島のスラバヤ ③バリ島のデンパサル

答えは最終ページ右下にあります。

2日目 8月12日

AM シニアクラブ・キッズカレッジとの交流会

キッズカレッジの子供たちと一緒に、シニアクラブの方々と交流しました。

前半はスコットランドの伝統的なゲーム、“モルック”を教えていただき、大いに盛り上がり、一気に距離を縮めました。お茶タイムをはさみ、後半は昔遊びを楽しみました。



モルック



コマ回し



シニアクラブの方の感想より

- ・留学生の方、小学生の方、皆様との交流会とても楽しかったです。若さに感動。昔の自分を思い出すことができました。
- ・留学生のフレンドリーな人柄に私の緊張感もほぐれました。

3日目 8月13日 フリーデー

4日目 8月14日 お別れ会

あっという間の3泊4日でした。稲美町は留学生の目にどう写ったのでしょうか。日本の中の稲美町という小さな町で過ごしたことを忘れないでください。

町長のギター演奏で「カントリーロード」をみんなで歌いました。稲美町バージョンに歌詞を変え、1つの歌を参加者全員で歌う一体感は感動しました。

PM 万葉茶会

午後からは、万葉の森憩いの館にて東播磨高校茶道部の皆さんと交流しました。生徒さんによるお点前を見せて頂いた後は、それぞれお茶を点てたり、お茶席の体験をしました。そしてフリートークでは、質問したりされたりで話はずんでいました。



高校生の感想より

- ・お点前を楽しんでいる姿や「素晴らしい体験だった」と言われたことで、3年生最後のお茶会が、今年一番の思い出になりました。
- ・茶道の上辺のことだけでなく、さり気なくやっているような細かいようなところにも気付いて褒めてもらえて、嬉しくなりました。



～ホストファミリーと留学生の4日間の交流より～

井上幸一ファミリー

大切な家族が1人増えました

我が家に来てくれたスウェーデン出身のコーネリスは、とても明るく笑顔が可愛くて綺麗な瞳をした男の子でした。英語が話せない私たち家族でしたが日本語がとても上手なコーネリスのお陰ですぐに打ち解けて、初日からすでに家族の一員となっていました!

自由行動の日をとても楽しみにしてくれて、どこかに出かけるのがもったいなく…BBQや花火をしたり、息子と一緒に竹で笛を作って吹いてみたり、和太鼓を借りてきて練習もしました。

『(太鼓を間違ふことなく)叩けないとコーネリスご飯なし?皆もご飯なし?』『いやいや、コーネリスだけ〜!』なんて冗談も言い合ったりして毎日我が家は笑いで溢れていました。

餃子やピザ、たこ焼きやおにぎりも作ったりしましたが、もっともっと一緒にしたいことがあって、あっという間の4日間すぎて時間が足りなく…皆で『短すぎる…』と嘆いていました。最終日は離れるのが寂しすぎて、皆なかなか足が動かず集合場所に遅刻してしまうほどでした。



コーネリス (スウェーデン)

マイホームステイ

私のホストファミリーと一緒に、多くの異なるイベントや家族の日常生活に参加しました。また稲美の子供たちや高齢者にも会う機会を得ました。私のホストファミリーはいつも私が多くの経験や素晴らしい思い出を持つことができるように気を配ってくれました。家族と一緒に過ごす素晴らしい思い出もたくさんありました。

私のホストファミリーは非常に社会的で親切でした。そのためわたしたちはすぐにとっても仲良しになりましたが、私自身も家族の一員になったと感じました。稲美からのバスに乗った瞬間から彼らが恋しくなりました。将来、再び彼らに会えることを楽しみにしています。次回日本に行く際には、絶対稲美に戻りたいです。

～ホストファミリーと留学生の4日間の交流より～

宮之脇ファミリー

初めてのホストファミリー

私たちにとって初めてのホームステイ受け入れとなりました。子どもたちもドキドキした様子で受け入れましたがエリザちゃん子どもたちに歩み寄って仲良くしてくれとても良い雰囲気です過ごすことができました。

日本語もすらすら話せて日常生活でも困ることがありませんでした。

浴衣を着て地域の盆踊りにも参加しました。地域の方々も温かく迎え入れてくれとても良い経験ができたようでした。

自宅では、手巻き寿司やBBQをしたり、フリーデーではフェリーに乗り直島へでかけました。建築科専攻とのことで美術館へ行ったりもしました。

短い時間の中で至らない点もあったかもしれませんが、日本の家庭の雰囲気が味わえたと言ってくれて安心しました。私たちにとっても子どもたちにとっても良い経験となりました。エリザちゃんと過ごせて本当に楽しかったです。

そして、このような出会いを下さった国際交流会の皆様ありがとうございました。



エリザ (ブラジル)

稲美町での4日間

稲美町に来る前になかなか緊張していた。しかし、豊富な経験をしてうれしかった。

初日、浴衣を着て地域の夏祭りに行った。後で、晩御飯として手巻き寿司をし、刺身をはじめ、食べたことがない料理を味わった。その間、他の親戚が訪問し、各々の国についてしゃべったり、子どもたちと絵を描いたりした。

翌日も忙しかった。お手玉やコマなど、いろいろな伝統的な遊びをし、午後茶道を体験した。難しかったけど、再度挑戦したい。また、その人々は好きなことを私たちに紹介する機会があって喜んだと思う。

夜にバーベキューに行った。もう一度会話や新しいことの試しをした。それに加えて、子どもたちとにらめっこ、鬼ごっこなど遊んで、楽しかった上にいい思い出になった。

そして、3日目に初めて日本でのドライブとフェリーに乗り、直島に向かった。海は濃い青色をしていて母国よりそれほど美しいのは意外なことだった。美術館を訪ねたり散歩したりした。景色やあそこの生活に感動した。

来日からほとんど留学生としか話していなかった。本当の日本を知らなかった。しかし、ホームステイとホストファミリーのおかげでそれが変わった。様々な年齢の方と交流し、文化について興味が深まった。さらに、ホストファミリーも親切にしてくれて家族の一つと感じた。もう少し懐の深くなったに違いない。

赤松ファミリー

ようこそわが家へ

わが家にとって五回目のホストファミリー、今回はインドネシアから来た通称クリスさんを迎えました。彼はとても親しみやすい、笑顔の素敵な青年です。昨年から日本語を学び、今年大学に入学したそうです。とても日本語が上手でびっくりしました。

稲美万葉太鼓の迫力ある演奏から始まった歓迎会では、どの学生も流暢な日本語での自己紹介の後、自国のワールドクイズで大盛り上がり。クリス、ごめんね!インドネシアの首都がジャカルタから移転する予定の都市『ヌサンダラ』を、私たち間違えてしまいました。

わが家でのオープニングは、ボウリング!! ボウルが溝にはまったり、ボカンとピンを倒したりするたびに、ワアー!! ワイワイガヤガヤと、クリスとの距離もグッと縮まりました。ちょうどお盆の時期と重なっていたので、親戚や娘たちも集まり、いろんな話をしました。留学先を日本にしたのは、日本は治安が良く、礼儀正しく、ルールを守る国というイメージがあったからとのこと。ご家族のみなさんも大賛成で応援してくれていること。大学では、日本語で受ける数学や物理の授業が難しいことなど。

また、このホームステイは、大学で学ぶことができない貴重な体験だと言っていたのが印象に残っています。二日目のシニアクラブ、キッズとの交流、高校生との茶道体験はとても楽しかったらしく、帰宅するとすぐに写真を見せてくれて、うれしかったことをいっぱい話してくれました。三日目のフリーデーには、猛暑渋滞を避け、娘夫婦と一緒に出石まで出かけたのですが、そばを食べるだけなぜこんなに遠い所まで来るの?と。笑いながら汗を拭いて昔からの出石の街並みを歩いたのもいい思い出です。

彼は稲美町の農業やため池に興味を持っていて、地域の人たちとも話したいと希望していたので、もうちょっと時間があれば紹介することができたかなあと少し心残りです。再会した時の楽しみにしたいと思っています。後日、台風通過のときは、心配してラインをくれました。心に残る出会いをありがとうございました。



クリス (インドネシア)

忘れられない貴重な経験

この4日間の間に様々な貴重な経験を積んだ。ホストファミリーと交流したり、子供たちと一緒に遊んだり、茶道を体験したりするのは本当に記憶に残っている。毎日ホストファミリーと過ごして、いっぱい話をして、冗談とかも言って、全て楽しかった。毎日、いつも美味しい夕飯を作ってくれて感謝する。

この稲美町のふれあい交流を行った人たちからの提供したイベントも面白かった。日本の小学生たちと高校生たちと一緒に交流できるのは留学生にとって誰でも思わなかったことだと考える。その上、実際に直接茶道を見て、体験できる外国人がすごく珍しいと思う。だからこのふれあい交流に参加して本当に良かった。ずっとこれらの経験をしっかり記憶にする。また機会があれば稲美町に来てみたいと思う。この交流大会を開催されてありがとうございました。

～ホストファミリーと留学生の4日間の交流より～

中谷ファミリー

プリアオと短くて濃密な4日間！！

6年振りに留学生を受け入れる。2002年から今回で8人目。ほとんどの留学生とは、家族ぐるみの交流が現在でも日常的に続いている。ホストとしては嬉しい限り。そして今回は、タイの21歳の留学生プリアオ。タイ語で「酸っぱい」という意味。トレードマークは、大きなメガネ。そして、そのメガネとは逆でものすごく顔が小さい。本当に可愛い女子大生である。彼女の家はタイのイサーン地方(東北部)のシーサケートという小さな町で農業をしている。お母さん、姉、祖父母の5人家族。この方達とLineビデオで直接話をして楽しい時間を過ごした。魅力的な家族だ。私と妻は、たぶんこのカンボジアとの国境にある町に行き、彼女の家族に会いに行くと思う(笑)

そんな素敵な時間を過ごしながら、フリータイムには、兵庫県北部にある“天滝”まで足を伸ばしてきた。往復約2時間の渓谷トレッキングだが、気温はやはり高い。しかし、彼女は疲れた顔も見せず登った。天滝の滝壺付近で食べたおにぎりは美味しかったね!そして、短くて濃密な4日間も過ぎ、彼女と私達は「また必ず会おう!」と最後にハグして別れた!



プリアオ(タイ)

嬉しい体験

日本に来る前から、私は本当にホームステイとして日本人の家で体験したかったです。なので、大阪大学にこのプログラムがあって本当にうれしくて、ありがたかったです。

初日は私が大好きな太鼓の演奏があり、非常に温かい歓迎を感じました。

2日目はシニアとキッズと交流会で日本の色々な伝統的なゲームと一緒にしました。特にボーリングみたいなゲームが最も楽しかったです。最後に一緒にペアした小学生と離れたときは本当に泣きました。午後は茶道体験ができて良かったのですが、2杯も頂いたので夜に寝れなくなりました。3日目には、優しいホストファミリーのパパとママと一緒に天滝で登山したり、姫路城を見に行ったりしました。登山は大変でしたが、ホストファミリーと冒険をしてもっと仲が良くなりました。

このプログラムはもっと長い期間であれば、もっといいと思います。なぜなら、4日間で仲が良くなったばかりなので、仲が良い時にあと少しでも、もっと時間をホストファミリーと過ごしたいからです。

米澤ファミリー

唯一無二の素晴らしい体験

ホームステイの準備。一番の難敵は掃除です。散らかった荷物・たまった埃との戦い。これ以外の準備はありません。晩御飯は、義姉に頼み、手持ち花火は友達家族と、そして歓迎会は妹と参加。自分一人では大変だけど、皆の力を借りてホームステイさせていただきました。

今年はオーストラリア・キャンベラ出身のフレアが来てくれました。日本語が上手で日本のこともよく知っています。そして、フレアの凄いところは、「お母さん大丈夫ですか?」と私を気遣ってくれるところです。そんな優しい彼女の両親が日本へ来られ、一緒に姫路城へ行ってきました。笑いあり、語学学習あり、楽しい一日を過ごさせていただきました。

是非、皆様も来年は唯一無二の体験を…



クレア(オーストラリア)

素敵なホームステイプログラム

稲美町に来た時、私の日本にいる時間はほとんど終わりました。それなのに、最も印象に残っている体験になったと思います。稲美町は本当に素敵な所だと思います。自然が多くて住みやすい街だったので、心が落ち着かせられました。神戸市ときれいな公園から近いから、色々なことができると思います。もちろん、食べ物も美味しかったです!ただし、稲美町の一番いいところは市民です。小学生から高齢者、皆さんがすごく優しくて、私たち留学生にたくさん教えました。10分前に始めた会った人と、もう友人になったような気がしました。特に、米澤お母さんに感謝します。お母さんのおかげで、本当に日本の家族に入った感じがりました。教えられた日本語、日本文化と本当に美味しい時短料理をずっと覚えたい!想像以外に稲美町はホームになりました。前述の理由で、大好きな稲美町を世界に紹介することを楽しみにしています!稲美町の皆さんへ、ありがとうございます!

酒本ファミリー

はじめてのホストファミリー

稲美町の国際交流事業の実施については昔から知っていましたが、海外に詳しくないし英語も話せない私たちにとっては無縁のものだと勝手に思い込んでいました。しかし、知人から「留学生とは日本語で会話して欲しいので日本語がペラペラだったら大丈夫です。」と声をかけて貰ったので、挑戦してみようと思いました。

留学生は自然が好きな子だったので、稲美町の田園風景やため池を散歩したり、畑で収穫をして一緒に料理したり、盆踊りや姫路城に出かけたりして楽しみました。大学で日本の城について発表した事があったようで「調べたものが本当に目の前にある!」と感動して喜んでくれ、城について無知な私の方が色々教えて貰うというような事もありました(笑)

国際交流は、留学生が様々な経験を通して学びや気づきを持ち帰るだけでなく、文化や考え方の違いを知る中で、ホストの私たちも日本の良さを教えて貰ったり「日本は便利だけど使い捨てが多くて勿体無い」など、当たり前になっていた事を考え直す良い機会にもなったりしました。

また機会があれば、自分の視野を広げる為にも色々な国の留学生を受け入れてみたいですね!



マリナ(クロアチア)

いなみ野の里に参加して

ふれあい交流“いなみ野の里”のプログラムに参加できて、本当に良かったです。短い間だけたくさん素敵な思い出を作って、日本の生活について新しい知識を得ることが出来ました。酒本のホストファミリーを初めて出会ったその瞬間に、とても仲良くなる気がしました。ホストファミリーとこの4日間を過ごして、たくさん話して、お互いの文化や生活にたくさん違いがあるとわかりました。ホストファミリーのおかげで、盆踊りを初めて見に行ったり、稲美町の野菜の収穫をできたり、姫路城を初めて訪ねたりして、たくさん新しい経験をできて、日本の色々な文化の場面について知識を深めることができました。

自分の国のクロアチアについて、ホストファミリーがたくさん質問を聞いてくれた。自分の国の文化や生活を日本人に紹介できて、そして素晴らしい反応を受け取れて、嬉しいです。当地の人々もたくさん遊んだり、すごく貴重な時間になりました。

ホームステイプログラムに参加できて、本当に感謝しています。日本人とたくさん交流できて、たくさん新しい意見や考え方を聞いて、私の世界観が広がったと思います。ホストファミリーのおかげで、新しい友達をできて、自分の国のことを伝えることができて、一生忘れない思い出になったと思います。

杉原ファミリー

ふれあい交流“いなみ野の里”ホストファミリーを経験して

子供達と共に国際交流を経験し、世界をより身近に感じられたらいいなと常日頃から感じており、ホストファミリー制度について調べている中でたまたま知ったのが、今回の稲美町の国際交流事業でした。我が家は神戸市西区に住んでいるのですが、参加可能と受け入れていただき大変感謝しております。我が家に来てくれた留学生はマレーシア出身のホくんでした。4月に日本に来たばかりとのことだったので、英語を話さなければならないと思っていたのですが、日本語が本当に上手で驚きました。少し複雑な日本語は、スマホの翻訳機能で言語を調べながら、基本的に全て日本語で意思疎通できました。家族全員マレーシアのことを全く知らなかったのに、マレーシアは多民族国家で中国語、英語、マレー語など多言語で会話するのが当たり前なこと、四季がなく雪を見たことがない、とにかく辛いものが好きで日本の食事も何でも辛くしたくなること等々、子供達も私達も日本との違いを学ぶことができました。

歓迎会と送別会で、その他の留学生達とも触れ合う機会があったのも非常に良かったです。国際色豊かで、留学生達が意欲的にホームステイに取り組んでいた姿や日本で頑張りたいという姿勢を身近に感じることができ、刺激になりました。来年以降もスケジュールが合えば、ぜひ継続的に参加させていただきたいです。素晴らしい経験をありがとうございました。



木村ファミリー

私たちの家族は、マレーシアからやって来たメイちゃんの受け入れをしました。メイちゃんは、長女である私と年齢が1つ違いで、共通するところが多く、色々な話をしながら、3泊4日の間は常に時間を共にしました。

特に印象深かったのはフリーデーです。親戚の子供達など、家族みんなで集まり、大勢でバーベキューをしました。とても暑かったのですが、メイちゃんは子供達とふれあったり、たくさん食べて、楽しかったと言ってきて、こちらも嬉しくなりました。

夜には花火をして、日本の夏の遊びを一緒にできてよかったです。

夜になると、稲美町はとても静かであることや、星が見えることは私たちにとって当たり前になっていましたが、都会に住むメイちゃんにとって、それは珍しく、貴重に感じたようで、写真を撮ったり、深呼吸している姿を見て、私たちも改めて稲美町の良さを発見できた気がしました。去年に引き続き、今回の3泊4日もとても貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。



ホ(マレーシア)

ホームステイプログラムについての感想

ホームステイプログラムに参加している間、色々な新しい経験を体験した。プログラムの行程表とほかの詳細はわかりやすく、はっきり伝えられた。この4日間の行事も楽しく、日本文化の勉強になった。スタッフさん、シニアクラブの方たち、子供と高校生、ホストファミリーは私に親切で、優しくしてくれて本当に感謝している。食べた食物も美味しくて、ゆっくり味わえた。一方、ホストファミリーと一緒に暮らしている間、日本家庭の雰囲気を感じた。

まとめに置くと、色々な交流をできてくれて、すごくよかった。

メイ(マレーシア)

一生の思い出

この度、素晴らしいホームステイプログラムに参加させていただき、様々な貴重な体験をすることができました。

ホームステイ先の家族に優しく接してもらい、とても素敵で有意義な時間を過ごせました。ホストファミリーの文化や生活を間近で体験することを通じ、私の日本語スキルを向上させること、あるいは新たな視点を得ることが出来ました。

また、私たちのために実施された行事では、茶道や太鼓の演奏によって、日本の文化の魅力を感じました。稲美町の小学生やシニアたちとの交流でも色々な面白いゲームや会話ができて、視野を広げました。

このホームステイプログラムのおかげで、日本の文化を楽しんだり、新しい友達を作ったりすることが出来、とても感謝しています。3泊の短い間でしたがこの体験は私にとって一生忘れることのない思い出となりました。

船原ファミリー

シュルティちゃんとの4日間

私はシュルティちゃんとのとても楽しい4日間を過ごしました。とくに楽しかった事は、そば打ちをしたことです。シュルティちゃんは、そば打ちが初めてで、私たちは2回目なのにシュルティちゃんのほうがそば打ちが本当に上手で、プロの方よりも上手だと言っていました。私はシュルティちゃんがこねたり、切ったりしたそばをお昼に食べました。本当に美味しかったです。私はシュルティちゃんと色々な木や葉、花の写真を撮りました。本当に緑がきれいで楽しかったです。たこ焼きパーティーもしました。最後にたこ焼きにタコではなく、チョコを入れて食べました。シュルティちゃんが「おいしい!!」と言ってくれたのよかったです。バーベキューは暑いから中止になってしまったけど、ブドウ狩りに行ったり、みんなでカードゲームをしたり、風船バレーをしたりして、それ以上楽しいことが出来たのでよかったです!!

みんなで近くの公園のお祭りに行って、盆踊りを踊ったり、手持ち花火をしたり、本当に楽しい思い出が出来ました。シュルティちゃん本当にありがとう!!4日間本当に楽しかったです。私たちのわがままなお願いにこたえてくれてありがとう!!会えなくなってもずっとずーっと家族のような存在だよ!!またどこかで遊んだり話したりしようね!!私たちと楽しい大切な思い出を作ってくれてありがとう。ずーっと元気でいてね!!

シュルティ(インド)

ありがとう

この素晴らしいホームステイが終わりましたが、心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。皆さんとの楽しい思い出は一生忘れません。あやこ、めぐみ、お父さんと一緒にしろうぎやウノやトランプで遊んだり、ピアノを弾いたり、みんなと色々しゃべったり、たこ焼きパーティーをしたりしてほんとに楽しかったです。みなさんのおかげで、初めて、ソバ打ちとブドウ狩りの体験もできました。美味しいご飯も食べました。一緒に花火をやったり、ボン踊りにも参加しました。いろいろな体験できて、本当に感謝しています。特にうそつきゲームはずっと心に残ると思います。また会える日を楽しみにしています。宜しくお願いします。

ありがとうございました。



～ホストファミリーと留学生の4日間の交流より～

井上愛美ファミリー

オスカーと過ごした夏休み

今年もこの季節がやってきました。井上家10人目の留学生はニュージーランドから来たオスカー。我が家にぴったりの筋トレ好きのマッチョマンでした。明るい性格なこともあり、すぐに家族みんなと仲良くなることができました。1日目はBBQをしながら筋トレで盛り上がり、2日目はみんなでたこ焼きをしました。

3日目は消防署見学をさせてもらって、放水体験をしました。消防士さんからも人気者で、ここでも筋肉話に花が咲いていました。

最終日は子どもたちと鬼ごっこをしたり、トランプをしたり、背中に乗せて腕立てをしたり、楽しく遊んでくれました。

4日間という短い時間でも、本当の家族のように仲良くなり、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。子どもたちにとっても、お兄ちゃんができて外国のことを知ることができてすごく良い経験になったと思います。オスカーと過ごした4日間は一生の思い出です。またいつでも帰ってきてね!



オスカー (ニュージーランド)

最高の幸せ 稲美町での四日間

この世の一番の幸せは、私たちの身の回りにある。

稲美町に来てからの四日間、色々な人と自分の国と日本の文化について話した。ちびっこから小学生、高校生やシニアまで、様々な人と話しながら、改めて稲美町の人々の純朴さと善良さを身に染みるほど感じた。最も印象に残ることは、ホームステイの初日、ホストファミリーの七歳の結衣ちゃんが私に絵を描いてくれたこと。その直率的で純朴な子供ならではの優しさに、思わず感動していた。

茶道のパフォーマンスを見たとき、正座しながら複雑な手順を踏んで心を込めてお茶を作った高校生を見て、嘆息した。数寄屋に、「和敬清寂」と「一期一会」は書いてあった。正直、自分は寡聞で、まだ和敬清寂の境の神髄を悟ることはできないが、滴水滴凍の努力を尽くして、そこに達しようとしている高校生たちを見て、魂まで浄化された気がする。それと、「一期一会」についても、茶道のことに通じて、理解が深まった気がする。時間と心血をかけてお茶を作ってくれた高校生たちと私たち留学生は、正に「一期一会」の状況だろう。もう会う機会はないかもしれないからこそ、人生のすべての出会いを大切にすべく、高校生たちは私たちにこれ以上ないくらいの情熱をくれた。これからの人生の中にも、この「一期一会」の情熱をひきつぎ、他の人にあげたいのだ。

自由行動の日にホームステイの家族と一緒に消防署に見学をしに行った。災害の多い日本だからこそ、人命救助のために消防士の英雄たちは日々厳しい訓練に励んでいることは、身をもって感じていた。そのあとは明石海峡大橋に行って、神戸と淡路島をつなぐ雄大な橋を間近で拝見できた。また、日本の工芸人と職人の優れた技術と拘りを実感した。

この四日間、色々な経験が出来て、心底から稲美町に来てよかったと思う。勿論、多種多様なイベントも、それを通して私が得た経験も、どちらも大切だと思うが、一番私を感動させたのは、私のホストファミリーの親切さだ。ホストファミリーの皆は私のことを本当に家族のようにしてくれた。三年も実家に帰っていない私にとってはそれは何よりも大切なものだ。今回のホームステイイベントで、私が学んだ一番重要なことはこの世の最高の幸せは私たちの身の回りにあるということだ。真心こめた人との付き合いにより、親密なる人間関係は築かれる。それこそ最高の幸せで、私たちが大切にすべき宝物だ。

過去の留学生との交流報告 ～中谷 直之さん～ ● ● ● ● 2003年受け入れ ケット(タイ)

タイ・バンコク出身のケット(Kate)との出会いは、2003年の稲美町国際交流協会のホームステイ事業でその時、17歳。外見はまだまだ子供っぽい印象でしたが、話をするとうれしくした考え方をしている女の子でした。留学先は、アメリカにするか日本にするかで、かなり悩んだらしく、数年後、彼女から「パパ!日本を選んで良かった!」と屈託のない笑顔で言ってくれました。ホームステイ後も学校生活でのこと、友達との旅行のこと、アルバイトのこと、軽音楽部でのこと、ゼミでの先生とのことなどなんでも話してくれる彼女とはすでに「親子の関係」のようになっていて、何でも話してくれる「かわいい娘」でした。



その後は、同大学の大学院に進み商学博士号を取得後、無事に帰国をしました。現在は、タイの最高学府である大学で教鞭を取っています。その傍らで、元来、モノを書くことが好きだったので、「日本」というキーワードで、その知識や経験を生かして日本の関連本(観光本以外)を何冊も書いて文化人的な活動も積極的に行っています。「日本のパパママ」としては、大変嬉しい出来事でしたね。

「パパママ、結婚式に参列して!」と言ってきてくれましたが、例のコロナ禍の渦中で、日本から出国する事は叶いませんでした。非常に非常に残念でした。Kateとの出会い、留学中の出来事、そして、タイに帰国してからの私達との関係は、濃くなる事はあっても決して薄まる事はありませんでした。私達は、今回のタイをはじめ、インドネシア、ナイジェリア、モンゴル等計8人の留学生のホームステイを受け入れましたが、ほぼ全員、今でも、LineやSNSを使って近況の報告や連絡をしています。これは、稲美町ホームステイプログラムから頂いた、素晴らしい関係だと思っています。今、ホームステイで留学生のホストとして一度やってみようかな...と考えているファミリーの方は、ホームステイが終わってから生まれる「素敵な人間関係」を考えれば、ぜひ、お勧めしたいプログラムだと思います。特に、小、中、高校生の子供をお持ちの家庭には、絶対にお勧めしたいですね。最後にアドバイスをするとすれば、日本とは違う文化(食も含む)や宗教、そして生活様式が違う異国で育った学生との良い関係をこれからも続けて行こうと思えば「お互いの少しの努力」が必要になるという事だけは、覚えておいて欲しいと思います!

※紙面の都合上省略させて頂いた部分があります。全文はHPIに掲載させていただきますので、是非ご覧下さい。



国際理解キッズカレッジ2023報告

2023年度のキッズカレッジは6月よりスタート致しました!今年は町内5・6年生11名が参加してくれています。

第1回

6月25日(日)は「外国のことを知ろう」と題し、JICA海外協力隊として活動された栗林哲夫さんのパナマ、キッズカレッジ引率ボランティアの山内陽月さんのパラオ、日本語教室の生徒さんは母国ベトナム、ALTの先生はカナダやフィリピンと様々な国とそこでの活動などを教えてもらいました。ALTの先生からはクイズも出題してもらい、みんなで楽しい会となりました。



日本語教室の生徒さんの発表



第2回

8月12日(土)はホームステイ事業に参加し、10名の留学生との交流をしました。シニアクラブさん企画のモルックや昔遊びを一緒に楽しみました。



ケン玉のコツを
教えてくれています

グループ毎にランチタイム。ペアの留学生に一人一人ウェルカムワードを書いてきてもらいました。

第3回

8月28日(月)はJICA関西の見学に行きました。バスの中ではホームステイ歓迎会での留学生からの母国クイズを子供たちにも出題楽しみました。平日のJICAにはお仕事されている外国人もおられてなんだか外国にきた気分です。JICAの役割や活動を教えてもらい、JICA協力隊としてフィジーに行かれた林さんのお話を伺いました。何か得意なこと世界の色々な人々の役に立つことができることが分かりました。



コロナ禍もひと段落ということでJICA関西の食堂で昼食を取りました。外国料理に挑戦する子や大好きな唐揚げを選ぶ子、いろんなメニューを楽しみました。

兵庫大学短期留学生との交流会 in 水辺の里公園

8月25日(金)に夏休みを利用して兵庫大学に2週間のホームステイに来日されている16名の留学生との交流会を開催致しました。水辺の里公園様のご協力のもと日本の夏といえばこれ!ということで流しそうめんをしました。湯がくところから留学生も一緒に挑戦しました。あつという間のゆで時間でその後水で冷やして、丸めてトレイに置いていきます。たこ焼きも色々な具を入れて作りました。くるとまわして丸く焼くのも上手になりました。



たこやきの焼き方を
教えてもらいます